

AWARDS

OIOS 2007 GRAND CHAMPION

Rhy. gigantea fma. *spot* 'Hsinying'



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2008

沖縄国際洋蘭博覧会

VOL.22 2008

実施要綱

GUIDELINE for Applications

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会組織(委員名簿)

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
実行委員長	富田 祐次	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 理事長	委 員	平良 哲	(財)沖縄観光コンベンションビューロー 会長
副委員長	安里カッ子	沖縄県副知事	〃	大城 榮治	沖縄県蘭協会 会長
委 員	木下 誠也	内閣府沖縄総合事務局 次長	〃	仲田 利美	沖縄県農業協同組合 常務理事
〃	畑 信裕	日本洋蘭農業協同組合 組合長	〃	外間 勝嘉	沖縄県花卉園芸農業協同組合 代表理事組合長
〃	吉永 清人	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部長	〃	渡嘉敷正彦	(社)沖縄県造園建設業協会 会長
〃	永杉 伸彦	内閣府沖縄総合事務局 農林水産部長	〃	照屋 雅幸	沖縄県華道連盟会長
〃	後藤 和夫	内閣府沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 所長	〃	翁長 幸子	(社)日本フラワーデザイナー協会 沖縄県支部長
〃	比嘉 俊昭	沖縄県農林水産部 農業振興統括監	〃	安里 靖	(社)日本生花通信配達協会 沖縄県支部長
〃	金城 秀雄	沖縄県観光商工部 参事監兼観光交流統括監	〃	豊平 良孝	沖縄タイムス社 取締役文化事業局長
〃	山城 政弘	沖縄県土木建築部 建築都市統括監			

実施要領

◆ 一般公開:平成20年2月2日(土)～2月11日(月)までの10日間

◆ 審査会:平成20年2月1日(金) AM9:00～PM4:30

◆ 会 場:海洋博公園 熱帯ドリームセンター

◆ 審査規定

① 認定審査部門/一般に認定されていない新花を対象とし、あらかじめ定められた評価基準により審査委員の持ち点の平均点で次の各賞が認定されます。

- ◎ F.C.C.賞 90点以上
- ◎ A.M. 賞 80点以上
- ◎ H.C.C.賞 75～79点以上

② コンクール審査部門/投票で選出され次の賞が選定されます。

※ 最優秀賞:出展された全ての洋蘭を対象とし、最も優れた作品を選考する。選考は審査委員の投票によって決定する。

※ 優秀賞:鉢物審査、切花審査、ディスプレイ審査、フラワーデザイン審査、外国出展審査のそれぞれを目的として出展された洋蘭又は作品を対象とし、各部門で最も優れた作品を選考する。各賞は、審査委員の投票によって決定する。

※ 優良賞:優秀賞の参考基準に準ずる。

※ 奨励賞:優秀賞の参考基準に準ずる。

◆ 表彰規定

① 認定審査部門

- ◎ F.C.C.賞 若干名……最高額100万円
- ◎ A.M. 賞 若干名……最高額 70万円
- ◎ H.C.C.賞 若干名……最高額 30万円

② コンクール審査部門

※ 最優秀賞

沖縄国際洋蘭博覧会大賞(内閣総理大臣賞)……………1点100万円

※ 優秀賞

- ・ 鉢物審査の部 沖縄及び北方対策担当大臣賞……………1点30万円
- ・ 切花審査の部 農林水産大臣賞……………1点30万円
- ・ ディスプレイ審査の部 国土交通大臣賞……………1点30万円
- ・ フラワーデザイン審査の部 文部科学大臣賞……………1点30万円
- ・ 外国出展審査の部 外務大臣賞……………1点30万円

※ 優良賞

- ・ 鉢物審査の部 沖縄総合事務局局長賞……………1点20万円
- ・ 切花審査の部 沖縄県知事賞……………1点20万円
- ・ ディスプレイ審査の部 沖縄県知事賞……………1点20万円
- ・ フラワーデザイン審査の部
- (社)日本フラワーデザイナー協会理事長賞……………1点10万円
- (社)日本生花通信配達協会会長賞……………1点10万円
- ・ 外国出展審査の部 沖縄総合事務局局長賞……………1点20万円

※ 奨励賞

・ 若干名(財)海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞(副賞、各スポンサー賞)

実施団体

1. 主 催

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

2. 共 催

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所、(財)海洋博覧会記念公園管理財団、(財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県蘭協会、沖縄県農業協同組合、沖縄県花卉園芸農業協同組合、(社)沖縄県造園建設業協会、日本洋蘭農業協同組合、(社)日本フラワーデザイナー協会、(社)日本生花通信配達協会、沖縄県華道連盟

3. 後 援

<行政>

内閣府、外務省、農林水産省、国土交通省、文化庁、沖縄県、沖縄県教育委員会

<団体>

日本・蘭協会、全日本蘭協会、蘭友会、(社)日本造園建設業協会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(財)日本花普及センター、(社)日本家庭園芸普及協会、(社)日本植物園協会、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、(社)沖縄県経営者協会、沖縄県緑化種苗協同組合、(社)日本旅行業協会沖縄支部、(社)沖縄県バス協会、(社)全国旅行業協会沖縄県支部、沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合、(社)沖縄県ハイヤー・タクシー協会、沖縄県個人タクシー事業協同組合、那覇個人タクシー事業協同組合

<マスコミ>

NHK沖縄放送局、琉球放送(株)、沖縄テレビ放送(株)、琉球朝日放送(株)、(株)ラジオ沖縄、(株)エフエム沖縄、(株)琉球新報社、(有)沖縄観光速報社、沖縄パシフィックプレス社

4. 特別協賛

全日本空輸(株)
(株)沖縄タイムス社

出展者数・出展蘭及び展示数

		外国 (6ヶ国1地域)	県外 (27都道府県)	県内 (18市町村)	合 計	公 園 展 示 蘭 合 計	展示総数
鉢物審査 の部	出展者数 (人)	20	248	131	399		
	出展数 (株)	1,520	591	465	2,576		
切花審査 の部	出展者数 (人)	13		24	37		
	出展数 (本)	1,570		310	1,880		
ディスプレイ 審査の部	出 展 団体数	10		13	23		
	鉢 物 (株)	970		1,430	2,400		
	切 花 (本)	1,050		390	1,440		
フラワー デザイン 審査の部	総合 デザイン 出展者数 (人)			13	13		
	出展数 切花(本)			831	831		
	アレンジ メント 出展者数 (人)			30	30		
	出展数 切花(本)			1,021	1,021		
	ニュー ブーケ 出展者数 (人)			32	32		
	出展数 切花(本)			861	861		
総合計	出展者数 (人)	43	248	243	534		
	鉢 物 (株)	2,490	591	1,895	4,976	2,850	7,826
	切 花 (本)	2,620	0	3,413	6,033		6,033 13,859



AWARDS

OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2008

沖縄国際洋蘭博覧会

目次 CONTENTS

挨拶	2
----------	---

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 富田 祐次

Greetings

Chairman of Okinawa International Orchid Show Committee,

Mr.Yuji Tomita

平成19年度入賞作品 AWARDS 2008

◆ コンクール審査部門／Competition	3
◆ 認定審査部門／Certification	14
◆ 審査員名簿／List of Judges	18
◆ ランに関する講演会／Lecture on the Circumstances of Orchids	20
◆ ディスプレイ出展作品／Display	22
◆ フラワーデザイン出展作品／Exhibitors of Flower Design	24
◆ いけばな展／Ikebana Exhibition	26
◆ スナップ／Snaps	28
◆ 関連催事／Events	30
◆ 出展者紹介／Participants	34
◆ 協賛団体紹介／Introduction of Sponsors	36
◆ 記念品について／Souvenirs	36



挨拶

Greetings

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 富田 祐次

Chairman of Okinawa International
Orchid Show Committee

Mr. Yuji Tomita



「沖縄国際洋蘭博覧会 2008」の開催に際しましては、多数の出展並びに、絶大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげをもちまして、本洋蘭博覧会は盛況裏に終了することができました。

国営沖縄記念公園、熱帯ドリームセンターの開園を機に開催された本洋蘭博覧会も今回で第22回目を迎えることができ、更に、出展内容も今まで以上に充実した成果を挙げることができましたことに、厚くお礼申し上げます。

また、国内外の洋蘭専門家を招いての講演会では、多数の参加者による活発なご意見、ご質問があり、本洋蘭博覧会の目的である「情報交換、技術の普及・向上」等の事業が少なからず達成できたものと思います。

出展においては、本県はもとより国内からは27都府県、そして国外からはタイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール、フィリピン、ブルネイ、台湾から参加があり、また出展内容も国内外からの出展数が多くなる等、これまでにない成果を挙げることができました。

幸い、本県は洋蘭の栽培には気候的な条件等にも恵まれております。国内外の洋蘭愛好者や生産者が一堂に会し親睦の和を広げ、情報交換、技術の普及の場として、また、洋蘭を通じた国際社会の形成と本県の観光並びに花卉園芸の普及、さらには都市緑化にも大きく貢献していくことと思います。

次回、第23回目を迎える本洋蘭博覧会では、これまでの実績をもとに、新たな目標に向かって努力する所存でありますので、愛好者並びに生産者におかれましても尚一層のご研鑽をご期待申し上げると同時に、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成20年 2月

I would like to take this opportunity to express my deepest gratitude to all exhibitors to the "Okinawa International Orchid Show 2008" and to all those who have so generously provided their assistance and cooperation with the presentation of this event, thereby making it such a notable success.

The "Okinawa International Orchid Show" was first held to mark the opening of the Tropical Dream Center at the Okinawa Commemorative National Government Park. This year's show is especially significant in that it marks the 22th of the event. This year's show is on a higher level than ever before, and I would like to thank everyone who has contributed to this.

Lectures given by renowned experts from throughout Japan and abroad feature a lively repartee of questions and opinions. Such occasions lead in sure, steady steps, to the goals of our orchid exhibits: information exchange and progress and dissemination of technical expertise.

Exhibitors this year have come from Okinawa Prefecture itself, from a further 27 Japanese prefectures, from Southeast Asia, notably from the Thailand, Malaysia, Indonesia, Singapore, Brunei, Taiwan, and Philippines. As befits such a commemorative event, the exhibits have been of unprecedented quantity and quality.

Okinawa is fortunate in possessing a climate ideally suited to the cultivation of orchids; the prefecture is currently in the process of becoming the main center of orchids production in Japan. These circumstances clearly enhance the significance of this event. I believe that Okinawa will become a focal point for the generation of information on orchid production both inside and outside Japan. I also hope that orchids will serve as the medium where by Okinawa can make an important contribution to international society, to tourism within the prefecture, to the diffusion of horticulture, and by extension to the promotion of greenery in the urban environment.

We intend to build on our past achievements and to aim toward the realization of new objectives at the 23th "Okinawa International Orchid Show" to be held next year. In the meantime, I would like to ask both producers and lovers of orchids to raise their standards to yet higher levels. May I also ask you for your continuing support and cooperation with this event.

February 2008



沖縄国際洋蘭博覧会大賞 | 内閣総理大臣賞

Rhy. gigantea 'ORCHIS'

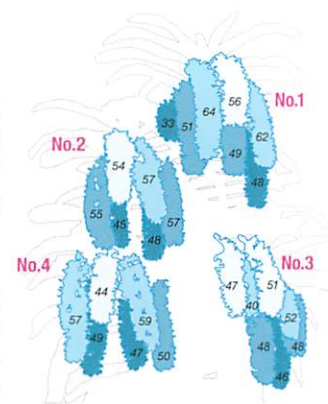
PRIZE: Prime Minister Award

呉 明坤(パーカー・ウー) 台湾 Mr. Parker Wu (Taiwan)



受賞作のリンコスチリス・ギガンティアは、台湾で交配した株で、以前に台湾蘭展でも大賞を受賞しています。20年間栽培しており、昨年は12花穂で800輪ほど咲きました。その後、1年栽培した今年は26花穂で1500輪ほど咲かすことができました。今回、沖縄国際洋蘭博覧会大賞をいただき、また皆様方に作品を見ていただく機会に恵まれたことに、感謝を申し上げます。

This prize-winning *Rynchostylis gigantea* was crossed in Taiwan and I've been taking care of it for the past twenty years. It's won the first prize in Taiwan Orchid Show as well. Last year, this orchid had 12 stems and 800 flowers. After that, I cultivated it for a year and it bore 26 stems and 1500 flowers. I am so thankful that I received this award, and that my orchid got to be seen by many people.



26花柄1317輪/事務局調べ



優秀賞 | 沖縄及び北方対策担当大臣賞

V. lamellata

PRIZE: Minister of State (Okinawa and Northern Territories Affairs)

宮良 祐二 沖縄県石垣市 Mr. Yuji Miyara (Ishigaki City, Okinawa)



今回は高い評価をいただきうれしく思います。沖縄国際洋蘭博覧会への出展歴は15年で、初めて優秀賞をいただくことができました。今回の作品は天候に恵まれたことに加え、博覧会にちょうど満開のタイミングで出展することができました。今後は、さらに上の賞をめざして挑戦したいと思います。

I'm very happy that my orchid was evaluated so highly. I've been exhibiting my orchids for 15 years now, but winning this prize is the first time! This orchid was blessed by the weather condition. It was just in the full bloom during the show. Next time, I'll challenge to win even higher prize!



Den.sulawesiense 'Misaki Dream'

優良賞 | 沖縄総合事務局長賞

PRIZE: Director of Okinawa General Bureau

重田 裕充 神奈川県

Mr. Hiromitsu Shigeta (Kanagawa Prefecture)



沖縄国際洋蘭博覧会には第4回(1990年開催)から出展しており、そのときに沖縄開発庁長官賞(=鉢物審査/優秀賞)をいただきました。思い入れのある博覧会だけに、今回の受賞も感激です。ラン栽培は、なにより足を運ぶことが大切です。足音を聞いて、ランは美しい花を咲かせるものだと思います。

I've been exhibiting my orchids since the 4th Okinawa International Orchid Show when I won Director of Okinawa General Bureau. I always put my heart into this show, so I am so excited. The key to the successful orchid cultivation is to actually go closer to them. By hearing your foot steps, they bloom beautifully.

奨励賞

海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞

PRIZE: Director of Ocean Exposition commemorative Park management Foundation



Rhy.gigantea 'Orange Star'
新垣 園子 / Ms. Sonoko Arakaki



Paph. Tommie Hanes 'Althea'
上本 武雄 / Mr. Takeo Uemoto



Epi. Venus Valley 'Red Diamond'
稲嶺 盛昭 / Mr. Moriaki Inamine



Rhy.gigantea 'White Ruby'
福地 恒夫 / Mr. Tsuneo Fukuchi



Blc. Pink Empress
町田 繁 / Mr. Shigeru Machida



Pot. Haw yuan Gold 'Isa 0-2'
伊佐 英仁 / Mr. Eijin Isa



Lc. santa Barbara Sunset 'Nakashige'
中重 敬一 / Mr. Keiichi Nakashige



Paph. Michael Koopowitz 'AKEMI'
飯田 秀孝 / Mr. Hidetaka Iida



Bc. Maikai 'Mayumi'
川 博久 / Mr. Hirohisa Kawa



Bc. pamela Hetherington 'coronation' x Lc. John MacArthur
山城 和子 / Ms. Kazuko Yamashiro



C. intermedia fma. flamea
川 育子 / Ms. Ikuko Kawa



優秀賞 | 農林水産大臣賞

Onc. Gower Ramsey 'ハニードロップ'

PRIZE: Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries

長嶺 由守 沖縄県うるま市 Mr. Yoshimori Nagamine (Uruma City, Okinawa)



名誉ある賞の受賞に大変驚いています。今後の豊富は、切り花生産農家の立場として、周年出荷ができるようにしていきたいと思います。そしてこれからも国内最大の沖縄国際洋蘭博覧会に出展し続けたいと願います。

I am surprised! As a cut flower dealer, I hope to be able to supply orchids all the year round. And also to continue exhibiting my orchids to this largest orchid show in Okinawa!



Mokara Munkuntian from cogam

優良賞 | 沖縄県知事賞

PRIZE: Governor of Okinawa Prefecture

ウォン・キャン・ホー マレーシア

Mr.Wong Kiang Ho (Malaysia)



今回はマレーシアの代表として出展致しました。作品のモカラ／Mokaraは、新品種であり、それがこのような賞に輝きとてもうれしく思います。沖縄国際洋蘭博覧会場で、たくさんの皆さんに観賞していただきたいと思います。

I exhibited my orchid on behalf of Malaysia this time. This Mokara is a new variety , and it won such an honorable prize, so I am very impressed! I'd like many people to enjoy this orchid.

奨励賞

海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞

PRIZE: Director of Ocean Exposition commemorative Park management Foundation



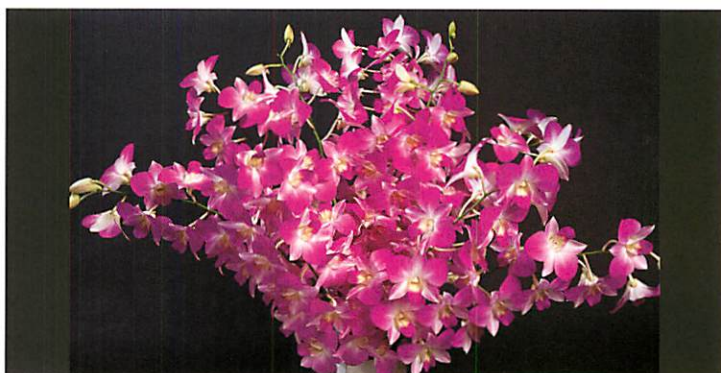
Chuanyenara Busarakam Nongkham

Mr.Prakong Pimsamarn



Den. Sirin Freshy

Mr.Mana Kucharoenchaimanatee



Den. 'ジェシカ'

赤嶺 善助／Mr.Zensuke Akamine



Den. 'プリンセスピンク'

安富 慧／Mr.Satoshi Yasutomi



Bc. Raspberry Parfait 'pink sprite'

城間 正守／Mr.Masamori Shiroma



優秀賞 | 国土交通大臣賞

Prize: Minister of Land, Infrastructure and Transport

「生命のいずみ」
“Fountain of Life”

森があたえる生命の力・心のいやし・自然を蘭で表現してみました。
We expressed the power of life and soothing effect of the forest by using orchids.

宮里グリーンサービス 沖縄県名護市 Miyazato Green Service (Nago City, Okinawa)



昨年初出展で奨励賞を受賞して以来、2回目にして優秀賞をいただき感動しています。今回は生命の力強さや優しさをランでどのように表現するか、スタッフ一同でイメージしながら仕上げました。(宮里文夫、香織、文康)

After winning 3rd.Prize at my first exhibition, I won 1st.Prize at my second exhibition. This year, all of our staff tried to express the energy and the gentleness of life by using orchids. (Mr.Fumio Miyazato & Ms.Kaori & Fumiyasu)

優良賞 | 沖縄県知事賞

Prize: Governor of Okinawa Prefecture

「蘭の妖精」 “Orchid Elves”

森の中に集まった植物や花々が妖精となって朽ちはてた枯れ木に生命を吹き込むかのように飛び跳ねている様子を表現しています。
Plants and flowers gathered in the wood turned into elves! Their cheerful dance brings withered trees back to life



ビオスの丘・(有)らの里沖縄

沖縄県うるま市

Bios on the hill & Okinawa Orchid Village Ltd.,
(Uruma City, Okinawa)



スタッフ全員の手を借りてきれいに仕上げる
ことができ、その結果受賞できてうれしいです。
作品のポイントは、今回初めて使用したハンギン
グバスケットをランの妖精に見立てた点です。次
回はひとつ上を目標に頑張ります。(安慶名勉)

I'm so happy for having completed my work
beautifully by many people's support. The
significant point about this prize-winning
orchid is the hanging basket we used as a
new attempt, and which we imitated the
orchid elves. Next time, we'll try to win a
higher prize.(Mr. Tsutomu Ageta)

奨励賞 | 海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞

Prize: Director of Ocean Exposition commemorative Park management Foundation



「沖縄山原から花祭り、桜前線と共に」

緑豊かな自然に恵まれた、沖縄山原から日本一早い桜の開花と共に、蘭たちや
花々の春節の共演。

本部造園株式会社

Motobu Landscape Corporation

“Flower festival and cherry blossoms from Yanbaru, Northern Okinawa.”
Beautiful competition between Japan's earliest blooming of cherry blossoms,
orchids and other flowers for Chinese New Year, from Yanbaru, Okinawa.



「自然界の摂理」

何百年も生き続けた大木がやがては老木となり枯れてゆく、そして倒れた木の隙間や周
辺には、新しい命が芽を出し力強く美しい花を咲かせる、自然界の流れを表現しました。

万座ビーチホテル&リゾート

Manza Beach Hotel & Resort

“Natural providence”

Trees that lived hundreds of years get older, die and fall; and just where they
fall begins a new life, showing a sprout, and powerfully bloom as they grow
mature. We wanted to show this cycle of nature by using orchids.



「南国の蘭舞」

南国沖縄は温暖な気候に恵まれ青い空、海そして自然の恵みを受けて花々が
持つ色彩や香りが人々の気持ちを幸せにする。

(有) 巴恵造園土木

Tomoe Landscaping and Civil Engineering Ltd.

“Southern Island Orchid Dance”

Okinawa, an island of warm climate, blue sky and ocean. Colours and scents
of the flowers fill the people's heart with joy and happiness.



「ラン色の地」

タイでは多くの人が趣味や商品用として、ランを栽培しています。そのため、実に様々な種類のランを
目にすることができるのです。この展示で、そんなタイの雰囲気味わって頂けたらと願っています。

タイ国ラン協会

Orchid Society of Thailand

“LAND OF ORCHIDS COLOR”

In Thailand many people grow orchids for hobby and business, so that you
can see many colours. Because they grow not same plant and varies.



優秀賞 | 文部科学大臣賞

エレガントに・・・ | 総合デザイン

PRIZE: Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

儀保 美佐子 沖縄県浦添市 Ms. Misako Gibo (Urasoe City, Okinawa)



1991年の沖縄国際洋蘭博覧会にフラワーデザイン審査が行われて以来、これまで何度か賞をいただいてきましたが、今回は9年ぶりの出展でしたのでとてもうれしく思っています。苦勞した部分が多かった作品だけに、報われた気分です。

Since the first OIOS, I've been achieving several prizes, but it's been 9 years since my last participation in the show, so I'm very excited! I worked hard on this orchid, so I feel rewarded.

優良賞 | (社)日本フラワーデザイナー協会理事長賞
PRIZE:Chairman of directors,Nippon Flower Designers Association

又吉 淳 沖縄県沖縄市
Mr.Jun Matayoshi (Okinawa City, Okinawa)



吸い込まれて... | アレンジメント



初めての出展でしたのでとても驚いています。枠を斜めにし、横方向からも観賞できるようにしたアイデアが評価されたのかと思っています。次回はさらに頑張ります。

I'm surprised to win a prize, for this is my first time to bring my orchid in! I guess the slanting frame that enabled to be looked at from the sides was the clue? I'll try to win another prize next time, too!

優良賞 | (社)日本生花通信配達協会会長賞
PRIZE:President of Japan Florists Telegraph Delivery Association

金城 麻由美 沖縄県沖縄市
Ms.Mayumi Kinjyo (Okinawa City, Okinawa)



今回は3回目の出展で初めての受賞でとても喜んでます。ホルダーの下の部分にサンゴを使ったのですが、そこを評価していただけたのかもしれない。今回の受賞は励みになりました。

This is my third time to bring my orchid in to the show, and the first time to win a prize. I'm very delighted! I used a coral under the holder, maybe that was the appealing point, I think! The prize is so encouraging.

奨励賞 | 海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞
PRIZE:Director of Ocean Exposition commemorative Park management Foundation



金城 みどり / Ms.Midori Kinjo



蘭舞 | アレンジメント
金城 新治 / Mr.Shinji Kinjo



融合 | 総合デザイン
阿波根 昌一 / Mr.Syoichi Ahagon



新垣 三枝子 / Ms.Mieko Arakaki



「ジャポニズム」 | アレンジメント
阿波根 秀子 / Ms.Hideko Ahagon



麗しき地球永遠に | 総合デザイン
大城 利重子 / Ms.Rieko Oshiro



優秀賞 | 外務大臣賞

PRIZE: Minister of Foreign Affairs

Paph. Tatung Stronger 'Ching Hua'

高 水恩(スイエン・カオ) 台湾 Mr.Shui En Kao (Taiwan)



出展できるだけでもうれしいのに、とても感激しています。沖縄国際洋蘭博には毎年参加し、ご当地のラン関係者から励ましをいただき、うれしく思っています。これからも毎年出展し、親睦を深めたいと願っています。

I'm already happy just to be able to participate in this show, but I also won a prize! I'm deeply moved. I've been participating in OIOS every year, and have always been encouraged by the orchid enthusiasts there in Okinawa. I'm very happy. I hope to continue bringing my pieces from now on, too, and promote even closer friendship!



Rhy. gigantea

優良賞 | 沖縄総合事務局長賞

PRIZE: Director of Okinawa General Bureau

秦 添煌(ティン・ハン・チン) 台湾

Mr. Tine Huang Chin (Taiwan)



受賞をととても喜んでいます。私の作品をご覧になってくださる方には、あるがままを見てほしいと申し上げたい。ランについては今後も、一般の家庭で気軽に楽しめるようになるまで、普及に努めたいと思っています。

I'm very pleased of winning a prize. I'd like all people to look at my orchid in their own ways as it is. I'll keep working on my promotion of orchids until they become familiar enough to be taken care of easily at home.

奨励賞 海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞

PRIZE: Director of Ocean Exposition commemorative Park management Foundation



Asdda. John De Biase
Mr. Prakong Pimsamarn



V. Bizsheart top x Viboon
Mr. Suwan Hiranworawuttikul



リンコステリス属 *Rhy. gigantea* 'Orange Star'
新垣 園子/Ms.Sonoko Arakaki



パフィオペディルム属 *Paph. rothschildianum* 'Yūto'
金澤 均/Mr.Hitoshi Kanazawa



リンコステリス属 *Rhy. gigantea* 'ORCHIS'
呉明坤 (パーカー・ウー)/Mr. Parker Wu



リンコステリス属 *Rhy. gigantea* 'White Ruby'
福地 恒夫/Mr.Tsuneo Fukushi



パフィオペディルム属 *Paph. (Keyeshill x Kevin's Wine)* 'Fuerte'
山本 滋/Mr.Shigeru Yamamoto



ブラッソレリオカトレヤ属 *Blc. Pink Empress* 'Mio'
町田 繁/Mr.Shigeru Machida



パフィオペディルム属 *Paph.* (Stone Lovely × Pacific Shamrock) 'Takato'
四国大場ラン園



パフィオペディルム属 *Paph.* Tatung Stronger 'Ching Hua'
高水恩 (スイ・エン・カオ) / Mr. Shui En Kao



ポディナラ属 *Pot.* Haw Yuan Gold 'Isa O-2'
伊佐 英仁 / Mr. Eijin Isa



パフィオペディルム属 *Paph.* Michael Koopowitz 'AKEMI'
飯田 秀孝 / Mr. Hidetaka Iida



パフィオペディルム属 *Paph.* Julius 'Sinfonia'
齋藤 雅徳 / Mr. Masanori Sato



ポディナラ属 *Pot.* Spanish Eyes 'Tian Mu'
周進昌 (チョウ・シン・チャン) / Mr. Chou Chin Chung



ブラッソレリオカトレヤ属
Blc. (Hwa Yuan Beauty x Tzeng-Wen Beauty) 'KINA'
喜納 昌久 / Mr. syokyu Kina



ブラッソレリオカトレヤ属 Blc. Triumphal Coronation 'Mariko. Isa'
伊佐 英仁 / Mr. Eijin Isa



パフィオペディルム属 Paph. Hamana Motion 'Mon Amie'
大津 豊隆 / Mr. Horyu Otsu



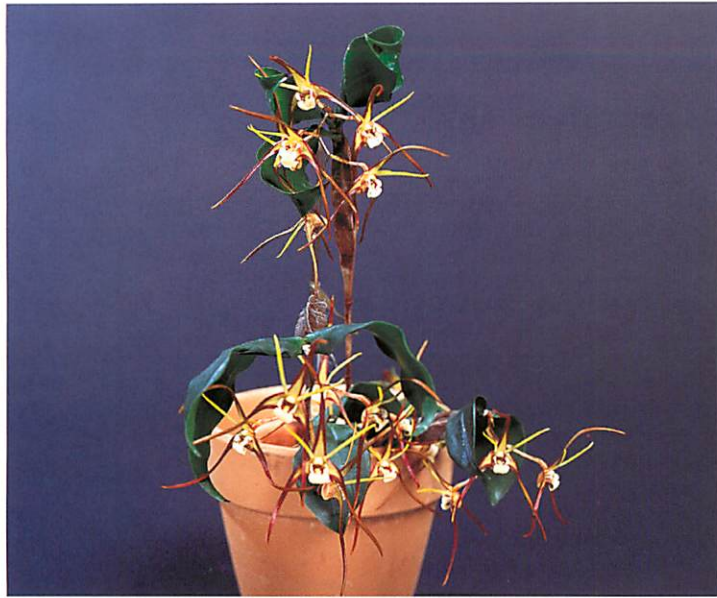
デンドロビウム属 Den. sulawesiense 'Misaki Dream'
重田 裕充 / Mr. Hiromitsu Shigeta



コルマナラ属 Colm. Wildcat 'TSUBASA. MINT'
小緑 範子 / Ms. Noriko Oroku



レリオカトレヤ属 Lc. Santa Barbara Sunset 'Nakashige'
中重 敬一 / Mr. Keiichi Nakashige



デンドロビウム属 *Den. tetragonum* 'Tomo'
金田 奉文 / Mr.Tomofumi Kaneda



ブラッソレリオカトレヤ属 *Bc. Husky Boy* 'Chura Okinawa'
ビオスの丘・(有) らんの里沖縄 / Bios on the hill Ltd., Orchid Village Okinawa



ファレノプシス属 *Phal. Sogo Yukidian* 'KARIYUSHI. SHIGEMI'
小緑 茂雄 / Mr.Shigeo Oroku



パフィオペディラム属 *Paph. Lebeau* 'Cosmic Beauty'
亀井 隆 / Mr.Takashi Kamei



リンコスチリス属 *Rhy. gigantea* 'Nakama #1'
名嘉真 勉 / Mr.Tsutomu Nakama



バンダ属 *V. (Madame Pranome x Robert's Delight)* 'PREECHA'
チャナポン・テチャチャレونسクチャ / Mr. Thanapong Techachareonsukchila

審査委員 | Judges

審査委員長 畑 信裕

Leader of Judges Mr.Nobuhiro Hata

日本洋蘭農業協同組合 組合長

Dean of Guild, Japan Orchid Growers Association

唐澤耕司 | ラン研究家 理学博士
Dr.Koji Karasawa | Orchidologist

Mr.Suwan Hiranworawueeikul | タイ王立園芸協会 会長
Mr.Suwan Hiranworawueeikul | President, The Royal Horticultural Society of Thailand

Dr.Rapee Sagarik | タイ国蘭協会 名誉会長
Dr.Rapee Sagarik | Honorary president, Orchid Society of Thailand

Mr.Shui-En Kao | 台湾仙履蘭協会 理事長
Mr.Shui-En Kao | President, Taiwan paphiopedilum Society

Mrs.Kalya Sagarik | タイ国蘭協会 副会長
Mrs.Kalya Sagarik | Vice president, Orchid Society of Thailand

Ms.Rolita Spowart | フィリピン蘭協会
Ms.Rolita Spowart | Philippine Orchid Society

Mr.Sheh-Shun Chen | 台湾蘭花産銷発展協会名誉会長、アジア太平洋蘭会議トラスト 評議員
Mr.Sheh-Shun Chen | Honorary President of Taiwan Orchid Growers Association, Trustee of APOC Trust

Mr.Cheah Wah Sang | マレーシア蘭協会
Mr.Cheah Wah Sang | Malaysia Orchid Society

Mr.Wong Kiang Ho | アジア太平洋蘭会議トラスト 評議員
Mr.Wong Kiang Ho | Trustee of APOC Trust

Ms.Lim Guat Yung | ジャスミナ・フローリスト・アンド・ランドスケーピング
Ms.Lim Guat Yung | Jasmina Florisut & Landscaping Company

Mr.Tan Ah Lee | マレーシア洋蘭生産組合
Mr.Tan Ah Lee | Commercial Orchid Growers Association of Malaysia

喜納昌久 | 沖縄県蘭協会 会長
Mr.Shoukyu Kina | President, Okinawa Orchid Society

Mr.Dato' Anuar Bashah | マレーシア蘭協会 会長
Mr.Dato' Anuar Bashah | President, Orchid Society of Malaysia

照屋清健 | 沖縄県蘭協会 副会長
Mr.Seiken Teruya | Vice President, Okinawa Orchid Society

Mr.Kelvin Neil B.Manubay | フィリピン蘭協会 会長
Mr.Kelvin Neil B.Manubay | President, Philippine Orchid Society

徳本行雄 | 沖縄県蘭協会 理事
Mr.Yukio Tokumoto | Director, Okinawa Orchid Society

Mr.Liu Hwang Chung Teh | 台湾蘭花産銷発展協会 審査委員長
Mr.Liu Hwang Chung Teh | Chairman of Judge, Taiwan Orchid Growers Association

仲本善宜 | 北部らん友会 会長
Mr.Yoshitaka Nakamoto | President, Orchid Society of Northern Okinawa

Dr.Holger Perner | 中国蘭協会 理事、中国黄龍国立公園シニアアドバイザー
Dr.Holger Perner | Director, Orchid Society of China, Senior Advisor, Huanglong National Park in Sichuan

安里弘 | 北中城村ラン同好会 会長
Mr.Hiroshi Asato | President, Kitanakagusuku Village Orchid Society

Mr.Frederick Ho | 東南アジア蘭協会(シンガポール)
Mr.Frederick Ho | Orchid Society of South East Asia

伊波興民 | 沖縄県農業協同組合 花卉指導課長
Mr.Koumin Iha | Director, Okinawa Agricultural Co-operatives

Mr.Henry Eksan | スラバヤ蘭協会 会員
Mr.Henry Eksan | Member of Surabaya Orchid Society

園田茂行 | 沖縄県花卉園芸農業協同組合 販売部 部長
Mr.Shigeyuki Sonoda | Head of Agricultural Management, Agricultural Co-operatives of Okinawa Floriculture

神原隆一 | 日本・蘭協会 常任理事、審査委員長
Mr.Ryuichi Kanbara | Executive Director & Chairman of Judge, Japan Orchid Society

五十嵐誠 | (社)日本造園建設業協会 副会長
Mr.Makoto Igarashi | Vice President, Japan Landscape Constructors Association

村上旭 | 全日本蘭協会 参与、審査員
Mr.Akira Murakami | Counselor, All Japan Orchid Society

枝吉茂種 | (社)ランドスケープコンサルタンツ協会 監事・未来委員会委員長
Mr.Shigetane Edayoshi | Chairman of Future Committee, Consultants of Landscape Architecture in Japan

長崎全宏 | 日本洋蘭農業協同組合 理事
Mr.Masahiro Nagasaki | Director, Japan Orchid Growers Association

新垣善孝 | 沖縄県緑化種苗協同組合 理事長
Mr.Zenkou Arakaki | Chairman of the Board of Directors, Okinawa Prefecture Green Space Seeds and Seedlings Production Association

三宅八郎 | 蘭友会 理事、会報委員長
Mr.Hachiro Miyake | Director&Chairman of Public Relations Committee, Japan Amateur's Orchid Society

渡嘉敷正彦 | (社)沖縄県造園建設業協会 会長
Mr.Masahiko Tokashiki | President, Okinawa Landscape Constructors Association

重田裕充 | 三浦市蘭友会 会長
Mr.Hiromitsu Shigeta | Director, Miura City Orchid Society

田畑正敏 | 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 公園・まちづくり調整官
Mr.Masatoshi Tabata | Senior Officer, Parks management and Town Planning, Development Construction Department, Okinawa General Bureau

中島文子 | 横須賀洋蘭クラブ 理事
Ms.Fumiko Nakajima | Director, Yokosuka Orchid Society

中村史子 | (社)日本フラワーデザイナー協会 名誉本部講師
Ms.Ayako Nakamura | Honorary Lecturer of Head Office, Japan Flower Designer's Association

高橋茂美 | 徳山蘭友会 会長
Mr.Shigemi Takahashi | Director, Tokuyama Orchid Society

田川憲幸 | (社)日本生花通信配達協会 理事
Mr.Noriyuki Tagawa | Director, Nippon Florists Telegraph Delivery Association

栗野原徹 | 長野蘭友会 事務局長代理
Mr.Toru Awanohara | Proxy-Secretary General, Nagano Orchid Society

山内晴子 | (社)沖縄県婦人連合会 理事
Ms.Hareko Yamauchi | Director, Okinawa Woman's Federation

永田治彦 | アジア太平洋蘭会議トラスト 会長
Mr.Haruhiko Nagata | President of APOC Trust

和宇慶朝健 | 沖縄県立芸術大学 教授
Mr. Chouken Wauke | Professor, Okinawa Prefectural University of Arts

上里健次 | 琉球大学農学部 名誉教授
Dr.Kenji Uesato | Honorary-Professor, Faculty of Agriculture, University of Ryukyus

小松清 | (財)海洋博覧会記念公園管理財団 理事長付
Mr. Kiyoshi Komatsu | Assistant to Chairman of the Board of Directors, Ocean Expo. Commemorative Park Management Foundation

Dr.Pope Kosalaraksa, MD. | タイ国コンカエン蘭クラブ 会長
Dr.Pope Kosalaraksa, MD. | Chairman, Khonkaen Orchid Club of Thailand

花城良廣 | (財)海洋博覧会記念公園管理財団 本部長
Mr. Yoshihiro Hanashiro | general manager, Ocean Expo. Commemorative Park Management Foundation

Mr.Suvitchai Sangtain | ラチャブリ蘭生産グループ 会長
Mr.Suvitchai Sangtain | Chairman, Rajchaburi Orchid Growers Group

審査を振り返って

確実にレベルアップ 審査は拮抗

全体的にレベルがとても上がってきました。とくに上位の賞を受賞した作品については、国内大型ラン展に比べても遜色のないものばかりです。鉢物、ディスプレイ、フラワーデザインに関しては、非常に優れていると思います。

今回はどの部門も二次審査までは拮抗し、どの作品が一位になってもおかしくありませんでした。

喜ばしいことに、5年後の2013年、ランのアジア大会であるAPOCが、沖縄国際洋蘭博と連動して開催されます。今後もますます沖縄国際洋蘭博覧会が注目されることでしょう。(談)



日本洋蘭農業協同組合組合長
審査委員長 畑 信裕



中国のデンドロビウムについて Dendrobium in China

ホロガー・ペルナー

中国蘭協会理事、ドイツ蘭協会理事、生態学者、
中国黄龍国立公園のシニアアドバイザー(ドイツ政府派遣)

Dr. Holger Perner

Senior Advisor, Huanglong National Park, Sichuan



デンドロビウムは約1,100の種があり、ラン科植物の中で最も大きな属のひとつです。中国では69から76種が知られています。この講演を準備する際、私は中国のデンドロビウムが未だ命名上、分類上多くの疑問があることに気づきました。今まで我々の実験室やナーセリーにおける22の原種の繁殖経験といくつかの原生地での観察、そして優れた文献より、私は中国デンドロビウム属についてまとめることができました。

私は主に中国の西南地方、東南地方及び中央中国では13のセクションと70の種があると認知するに至りました。これらの種は全て着生、または岩生の種です。岩生の種は漢方薬の原料になる長い歴史があるため、幾かの種が現在においても実際に伝統的な漢方薬として使われています。今日漢方の原料とする「黄草セッコク」に対する巨大な需要は、既に原生地の天然個体群に嚴重なるプレッシャーを与えています。人工的マスプロパゲーションのノウハウが欠けているため、中国では薬用デンドロビウムを繁殖する産業が未だ未熟ではあるが、近い将来に発達することになるでめししょう。

幾つかの中国のデンドロビウムが観賞上、園芸上に高い価値があります。中には最も有名な種は*Dendrobium nobile*です。この種より既に一列の園芸交配種が作出されています。多くの中国デンドロビウムの栽培は暖かい、湿気のある夏、そして冷涼、乾燥が明確であり、冬の休眠期間を必要とします。これらの種を順調で、健康に育つためには、よい日照が必要な条件となります。

私がここで紹介する中国のデンドロビウムはセクションの順に沿っており、各セクションは互いに緊密に繋がる種を含めます。これらの種はよく似たような栽培条件を必要とします。デンドロビウムのタイプセクションは中国には24の種があり、その中で*D. nobile*, *D. monilliforme*, *D. wardianum*が広く知られています。*Holochrysa* のセクションには8種の中国原種があり、一番よく知られているのは*D. moschatum* と *D. fimbriatum*です。セクション*Densiflora* には*D. thyrsiflorum*, *D. densiflorum* など、豪華な種が中国にも8種あります。セクション*Breviflores* には2種があり、セクション*Stuposa* には1種があります。これらの種は園芸上価値は高くありません。セクション*Formosae* には8種の中国原種があり、中にはとても人気のあるものもありますが、*D. bellatulum* のような栽培しにくいものもあります。セクション*Stachyobium* には5種の中国原種があり、これらの種の区別は困難であり、忠実なるコレクターにだけに興味のあるものでめししょう。同様にはそれぞれ1種しか含まれないセクション*Distichophyllae* と*Calcarifera*があります。セクション*Pedilonum* には魅力的な*D. goldschmidtianum*があり、よく*D. miyakei*との異名で知られています。最後のセクション*Aporum*, *Crumenata* と*Grastidium* の中の種は殆ど植物学上の意味しかないものです。

The genus *Dendrobium* contains about 1100 species and is one of the largest in the orchid family. In China between 69 and 76 species are known. When preparing this talk I realized how many open questions remain about the nomenclature and taxonomy of dendrobiums in China. From the experience with so far growing and actively propagating 22 native species in the nursery and laboratory, with having seen several habitats in the wild and by consulting the leading literature, I have compiled a preliminary treatment of the genus *Dendrobium* in China:

I recognize 70 species in 13 sections, which grow mainly in Southwest, South Southeast and Central China. All are epiphytes or lithophytes, the latter growing style has long caught the attention of classic Chinese medics which saw great health in these lithophytes. Subsequently several species found inclusion into traditional Chinese medicine. Today a huge demand for 'Huangcao Shihu', the medicinal dendrobium preparation, has put the wild populations under severe pressure. Due to a lack of know-how the artificial mass-propagation of dendrobiums for medicinal purposes in China is still in its infancy but will certainly play an important role in the not so distant future.

Several Chinese *Dendrobium* species are showy and of horticultural value. The most significant of these species is certainly *Dendrobium nobile*, from which a considerable array of horticultural hybrids has been produced world wide. Many Chinese dendrobiums in cultivation demand warm humid summers with copious watering and cool dry winters with a pronounced resting period. They need bright conditions for good and healthy growth.

I present the Chinese *Dendrobium* species in sectional order. Each section contains closely related species, often with similar demands for cultivation. Section *Dendrobium*, the type section, has 24 species in China, many of them well known, like *D. nobile*, *D. monilliforme* or *D. wardianum*. Section *Holochrysa* contains 8 Chinese species, the best known perhaps *D. moschatum* and *D. fimbriatum*. Section *Densiflora* contains spectacular species like *D. thyrsiflorum* and *D. densiflorum* and has also 8 species in China. Section *Breviflores* with two species and section *Stuposa* with one species are not of namable importance in horticulture. Section *Formosae* with 8 Chinese species contains some rather sought-after species, alas, some like *D. bellatulum* are difficult to cultivate for any length of time. Section *Stachyobium* with 5 species in China provides difficulties in properly identifying the species, which are only of some interest for committed collectors. The latter statement goes also for the sections *Distichophyllae* and *Calcarifera*, which both have one species in China. Section *Pedilonum* with two species contains the attractive *D. goldschmidtianum*, often known under the synonym *D. miyakei*. The last sections *Aporum*, *Crumenata* and *Grastidium* each have species in China and are mostly of botanical interest only.

コウトウシランの交雑による花色について Spathoglottis Breeding

ロリータ・スポワルト

フィリピン蘭協会副会長

Mrs. Rolita Spowart

Philippine Orchid Society Vice-President



現存するコウトウシランはランドスケープ材料として最適ですが、花色に限られています。私は5年間に数百の交配を行い5万輪を開花させました。その結果についてお話します。

初めに、*S. kimballiana* (高さ70cm)と、新たな交雑種の*S. philippinensis*を交雑しました。これは高さ15cm程なので他のコウトウシランの背丈を抑制できます。交雑の結果、花は中位の鮮黄色で、開花性と繁殖力が旺盛であり、高さは35~40cmで、鉢物やランドスケープ用として使えます。こうして、後に多くの交雑種の親となる*S. Rolita*が出来上がりました。*S. Rolita*は*S. plicata*, *S. unguiculata*, *S. Ted Green*, *S. Sunshine*, *S. parsonsii*, 2色の*S. tomentosa*等と交雑してもその扱いやすい花の大きさと開花性を維持します。

コウトウシランの遺伝の中で私が最も興味を持ったのが花色です。コウトウシランは、その親の品種により、交雑種がまるで2色の絵の具を混ぜたかようになりますが、その混ざり方は種類により異なります。たとえば*S. plicata*と*S. kimballiana*を交雑すると、花色は混ざらず、まるで1色は水彩絵の具、もう1色は油絵の具のようです。

また、*S. plicata*の斑入り形質は遺伝的にとても強く、*S. Freckle Face*と*S. kimballiana*等を戻し交雑すると3世代後まで受け継がれました。

*S. tomentosa*の変種*Danny Tiu*と*S. kimballiana*を交雑すると、花色は同一のパターンで現れます。この交雑とその逆交雑の子孫は、栄養繁殖個体と間違えられ、類似しています。そして、*tomentosa*の興味深い性質は、その後の世代の花色を「パステル(淡色)化」することです。1,000以上の*tomentosa Danny Tiu*と*kimballiana*の交雑種の中で*kimballiana*の黄色を受け継いだものはひとつもありませんでした。*S. Ted Green (kimballiana × tomentosa)*は花の大きさと美しい形から、最もよく使われる交雑種となっています。

パステルカラーの*S. Ted Green*と明黄色の*S. Rolita*を戻し交雑すると更に淡くなりました。

次に、*S. plicata*の斑入り性質と*S. tomentosa*のパステル化性質のどちらが遺伝的に強力なのかを知りたくなりました。そして*S. tomentosa Danny Tiu*と濃色の*plicata*を交雑すると、約20%が縞入りになったのです。およそ同数が白色になりました。両親とも白ではなかったのに、これは驚きでした。20%にものぼると思っていなかったのです。残りの大多数は淡いピンク色でした。次の実験では、縞入りになる確率を調べてみようと思案中です。

*S. plicata*の斑入り性質、*S. tomentosa*のパステル化作用、*S. kimballiana*の鮮黄色性質のうち、いずれが遺伝的に勝つかを調べると、*S. Ted Green × plicata*の大半が黄色を含む淡桃色になり、これらは大きな花と形を持ち、更にいくつかは白色で様々な色のリップを持っていました。

また、*Unguiculata*種の花弁に着色した縁取りができる性質は継承されるということも発見しました。濃色の*plicata*を親に持つ交雑種が花弁に濃色の縁を持つということはよくあることですが、花弁だけでなく、がく片、リップの縁にも着色することがあるのです。*S. Rolita*と*S. (unguiculata × plicata)*を交雑すると、その次世代は大半が黄色に赤紫色の縁を示しました。約10%は前面が黄色でなく、白色でした。

レモン色の*S. vanoverburghii*は明るい黄色の*S. Rolita*と交雑すると、ごく少数のみ*S. kimballiana*と*S. philippinensis*の鮮黄色を受け継ぎました。つまり、黄色を発現させる遺伝子はそれほど強くはないということです。

ちょうど*S. tomentosa*のパステル化性質が2代目まで継承されるとわかった時、他の*tomentosa*の栄養繁殖個体が開花しましたが、*Danny Tiu*の形質はひとつも受け継がれませんでした。*S. tomentosa "peach"*を交雑した時は、ほぼ全てに*S. plicata*の交雑種や*S. Freckle Face × tomentosa "peach"*に見られるような斑が入っていました。同じことが*S. tomentosa "purple" × Rolita*にも言えます。コウトウシランの花色の遺伝が個々によって異なり、種の法則ではないと周知されていますが、私は、繁殖実験の結果から、いくつかの*tomentosa*には実は他種の遺伝子が混じっているのではないかと考えています。

私が繁殖実験で目指すのは、コウトウシランを背丈、開花性、剛健さ、花の質とサイズにおいて満足のいくレベルに高めることです。この目標に向けて*S. "Star Shine"*と*S. "Butter Crunch"*を交雑しましたが、そのうちわずか2%しか実を結びませんでした。しかし、この実験は7cm程の大きさの明るいオレンジ色の花を付ける交雑種を生み出しました。花の大きさも、親である*"Butter Crunch"*が2cmに満たないことを考えると、とてもよくできていると言えます。

私の繁殖実験は続きます。最終的にはコウトウシランを虹にある色の数だけ、そして縞入り、点入り、模様入りものも作りたいと思っています。

The terrestrial *Spathoglottis* is a landscape orchid in milder climates yet so few colors and forms are readily available to the landscapers. I was captivated by this genus and I was convinced of its commercial potential. I was determined to have a collection. But when my years of searching in many countries and mountains proved disappointing, I decided it was easier to make my own. Five years, hundreds of crosses and 50,000 flowering hybrids later, much has been achieved and learned. I remain more convinced than ever of the potential of the genus *Spathoglottis*.

My first hybrid was between *S. kimballiana* and the recently named *S. philippinensis*. *S. kimballiana* is 70 cm tall and lanky. *S. philippinensis* is an important addition to the hybridizer's gene pool. Barely 15 cm tall with numerous bulbs, it could tame the taller *Spathoglottis* species. The resulting hybrid, *S. Rolita* turned out better than I imagined. At 35-40 cm tall, it was suitable both as a pot and a landscape plant. The medium sized, brilliant yellow flowers were no surprise but the floriferousness exceeded any *Spathoglottis* I've seen. Its vigor and proliferating ability makes it a good candidate for landscapers. The success of this primary hybrid *S. Rolita* became an important parent of many hybrids. Bred with *S. plicata*, *S. unguiculata*, *S. Ted Green*, *S. Sunshine*, *S. parsonsii* and a 2-Tone *S. tomentosa*, *S. Rolita* imparted its manageable plant size and floriferousness.

Out of all the heritable traits of the *Spathoglottis*, color is the one that most interests me. If all else fails, at least I can give another color option to the landscaper's only choice, the purple and the white *S. plicata*. Color inheritance in *Spathoglottis* is much like mixing 2 buckets of paint, but how the 2 colors behave in the mix is dependent on the species involved. With *S. plicata* and *S. kimballiana*, it is as if one color is water based and the other is oil based. They just did not mix.

So strong is the speckling trait of the dark *S. plicata* that it was passed on until the third generation when I back crossed *S. Freckle Face* to *S. kimballiana* and others.

This is not the case with hybrids between *S. tomentosa* variety *Danny Tiu* and *S. kimballiana* where the color mix is homogeneous. The progenies of this cross and its reverse cross are so uniform that it could be mistaken as clones. An interesting quality of this *tomentosa* is its tendency to "pastelize" the color of its hybrids. In the batch of over 1000 hybrids between *S. tomentosa Danny Tiu* and *S. kimballiana*, not a single plant inherited the brilliant yellow color of *S. kimballiana*. *S. Ted Green (kimballiana × tomentosa)* is the most frequently used hybrid and it imparts large flower size and excellent flower form.

When this pastel colored *S. Ted Green* was backcrossed to the brilliant yellow primary hybrid *Rolita*, the yellow color became even paler. A reverse -cross yielded slightly darker offspring. However, for each cross, different clones were used.

The same is true for my hybrid of *S. tomentosa* and the brilliantly colored new species, *S. philippinensis*. The primary hybrid is a pastel shade of both colors but back-crossed to *S. kimballiana*, the yellow shade became even paler.

I was curious to find out which will be the stronger trait, the speckling effect of a dark *S. plicata* or the pastelizing effect of the *S. tomentosa*. So when I crossed *S. tomentosa Danny Tiu* and a very dark *plicata*, I was pleasantly surprised to find a different color pattern altogether, striping in about 20%. About the same number is clear, clean white. This was another surprise since neither of the parents was white. Although I was expecting some stray whites, the large number that turned up white surprised me. Majority of the crosses was pastel pink. For my next crosses, it will be interesting to learn just how heritable the striping trait is.

It was interesting to find out which color trait would prevail, the speckling effect of a dark *S. plicata*, the "pastelizing" effect of the *S. tomentosa* or the brilliant yellow of the *S. kimballiana*. Although there were extremes in all directions, majority of the progenies of the cross *S. Ted Green × plicata* was pastel pink with just the slightest touch of yellow. They have very big flowers and good form, and some are even white with different color lip.

The exciting characteristic of the species *unguiculata* seems to impart its "picotee effect" on the entire flower. It is fairly common for hybrids of dark *plicata* parents to have a darker margin on the petals. When *unguiculata* is involved, the dark margins appear to the petals, sepals and the lip with distinct patterns.

My hybrid of *S. Rolita* with *S. (unguiculata × plicata)* illustrates this best. A large percentage of the offspring has yellow color with magenta margin. Almost ten percent has a white foreground instead of yellow.

When the lemon yellow *S. vanoverburghii* was crossed to the sunshine yellow *S. Rolita*, very few of its offspring approached the brilliant yellow color of either *S. kimballiana* or *S. philippinensis*. It is only a small fraction of what is contained in them that shows yellow color.

Just when I was convinced about *S. tomentosa*'s ability to "pastelize" even its second-generation progenies, offspring of other *tomentosa* clones flowered and they have none of the characteristics imparted by *S. tomentosa "Danny Tiu"*. When I crossed *S. tomentosa "peach"*, nearly all of them have the speckling common in *S. plicata* hybrids as in *S. Freckle Face × tomentosa "peach"*.

The same is true for crosses of *S. tomentosa "purple" × Rolita*. Although color inheritance in *Spathoglottis* is accepted to be an individual and not a species trait, I strongly suspect that some of these *tomentosa*s are in fact some other species judging from their breeding behavior.

One of my goals in breeding is to create a brilliant orange *Spathoglottis* that conforms to my standards of height, floriferousness, vigor, flower quality and size. Towards this goal I used *S. "Star Shine"* and *S. "Butter Crunch"*. Less than 2% of the crosses yielded only a handful of offspring. However, this painstaking breeding yielded a delightfully orange hybrid with 7cm flower that is fairly round and flat. The flower size was a pleasant surprise as one parent, *S. "Butter Crunch"* is less than 2cm.

My breeding program is continuing and the end goal is to make *Spathoglottis* in all colors of the rainbow and some with striping, dots and unique patterns.

ディスプレイ出展者

Exhibitors of Display Category



「春の舞」
春の流れとともに大自然の舞台で舞う花の宴
琉宮城蝶々園 Ryugujo Butterfly Garden

“Spring Dance”
Celebration of dancing flowers on the stage of nature with a stream



「古里」
昔なつかしい古里は今と違い不便であったが心は豊かであった。
そんな昔にかえるのもいいものではないでしょうか。
(有) 仲本造園土木 Nakamoto Landscaping & Civil Engineering Ltd.

“Hometown”
Inconvenient yet people were spiritually rich; let's go back to the good old days for a while...



「安らぎの空間」
心の癒しを求めて、花と感動の喜びを分かち合う思念の場
(株) 沖縄庭芸 Okinawa Garden Art Corporation

“Place of relaxation”
Place of meditation and spiritual healing, where you can share the joy and pleasure of flowers



「水の邦」琉球の館 癒しを招く『彩り』の刻
沖縄には此処でしか体験できない「癒しの刻」が流れています。そのような刻のうつろいを活かしたもてなしの館の1シーンを表現しました。

喜瀬別邸 KISE BETTEI HOTEL & SPA

“Water dynasty” Ryukyu, colorful moment brings healing”
In Okinawa, time passes by differently. It is the time of healing. One scene from our welcome palace where time flows more slowly, is represented in this display.



「自然の息吹」
冬の寒い日々も生き物たちは春の準備を始め、そして春、若葉が芽吹き蕾もほころび花々は咲きみだれ、優しい風が通りぬける季節に生命の息吹を感じる。

沖縄熱帯植物管理株式会社 Okinawa Tropical Plant Management Corporation

“Breath of nature”
Even in cold winter, living things are preparing for the spring. And when the spring comes, new leaves and buds open and the flowers bloom. Feel the breath of life in gentle spring breeze...



「村の楽園」
鉢植えのデンドロビウムを村に生えている竹のようにアレンジしました。風に乗ってセレナーデがデンドロビウムを包む時、村は楽園になる。

チャー・ワン・サン オーキッドファーム Cheah Wah Sang Orchid Farm (Malaysia)

“Village Paradise”
Dendrobiums planted in pots and arranged like bamboo growing in the village. Serenade by the wild these cane dendrobiums gives a village paradise.



「夜明けの原生林」
枯木や流木を主体とした原生林のイメージで製作しました。ランはできるだけ自然に生息しているように見せたいため上記の材料に水苔をもって取付します。

北部造園土木(株) Northern Landscaping and Civil Engineering Corporation

“Auroral virgin forest”
Inspired by the images of virgin forest, we created this display by using withered trees and driftwoods. Orchids are set on bog moss in order to create more natural look, put together with the withered trees.



「五大陸 2008」
今年の夏、北京でオリンピックが開催されます。近代オリンピックの象徴でもある五輪のマークは、世界五大陸と五つの自然現象(火・水・木・土・砂)等を表現したものといわれています。この作品はそれらをイメージしました。

(株) グリーンテクトウバル Green Tec Tobaru Corporation

“5 Continents 2008”
We designed this display by the inspirational Olympics, which is going to be held in Beijing this summer. Five wheels, the symbol of modern Olympics, is told to be the five continents of the world and the five elements of nature: fire, water, tree, earth, and sand.



「フェヌカジ “南の風”」
環境破壊が問題になっている現代社会において、人間達が“カジマヤー”を迎えるように、木々達にも“花のカジマヤー”を迎えられるような環境を保持し、花や緑を増やし、人々が健康で楽しく過ごすことのできる、ここ沖縄から「ストップ・ザ・地球温暖化」の風を吹き込む。

金秀グリーン株式会社 Kanehide Green Corporation

“Fenukaji” “South wind in Okinawan dialect”
In our modern life today, which is full of environmental problems, it is essential to maintain sustainable environment and stay healthy by keeping flowers and greeneries. We Propose the world, from Okinawa, “Stop The Global Warming” campaign.



「色とりどりのランのハーモニー」
多様な人種が共に暮らすマレーシアの様子を、自然の中で生きる色とりどりのランで表現しました。

マレーシア洋蘭生産組合 Commercial Orchid Growers Association of Malaysia

“HARMONY OF COLORFUL ORCHIDS”
Colours of orchid represent multi racial Malaysia; they live in harmony as one family.



「島の喜び」
沖縄の島と海岸線を彩る蘭。ピンクは周りを取り巻く静けさを表しています。

オリेंट オーキッド ネットワーク Orient Orchids Network Malaysia

“ISLAND DELIGHT”
Display of orchids with the view the show around the side of the island and shore. Pink shows the calmness of the surrounding.



「熱帯のラン」
フィリピンの花々が、その人々と文化の温かさを醸し出しています。

フィリピン蘭協会 Philippine Orchid Society

“ORCHID OF THE TROPICS”
Philippine flora exude the warmth of the filipino people & culture.



「蘭絵画」
2羽の孔雀が春の訪れを歓迎している様子を表しました。

東南アジア蘭協会 Orchid Society of South East Asia

“Orchid picture square”
This display symbolizes two peacocks welcoming the arrival of spring.



「花飛花舞」
新しい一年の始まりに、美しく咲き乱れる花々の香りを贈ります。

グッド ウィル オーキッド Tine-Huang Chin Good Will Orchids

“Scattering Flowers, Dancing Flowers”
新的一年、百花盛開、呈獻花香花色的美 I am sending you these beautifully blooming flowers to begin a New Year.



「蘭の海」
海に負けない美しさで魅せる、ランの海。くつろぎのひとつをお楽しみください。

台湾蘭花産銷発展協会 Taiwan Orchid Growers Association

“Orchid Sea”
The orchid sea is very beautiful like true sea. This is to let the person enjoy and feel restfulness.



「暗闇からの色」
その角のような形から、動物のアンテロープにちなんで、「アンテロープ・オーキッド」と名付けられたこのランは、パプアニューギニアとインドネシアの原産です。この展示は、山の斜面に建つ家の前に植えられたアンテロープ・オーキッドが、太陽に向かって咲いている様子を再現したものです。

スラバヤ蘭協会 Surabaya Orchid Society

“Colors from the dark”
Splendid antelope orchids (horn type) born in Papua New Guinea and Indonesia displayed in front of houses along the slope of mountain. It has grown out as it loves plenty of sunlight.



「意外な宝もの」
ブルネイはイスラムの国、また石油生産国として有名です。また、あまり知られていませんが、熱帯性気候独特の動植物の原産地でもあります。そんな意外性をこの展示で表現してみました。

ジャスミナ フローリスト&ランドスケーピング会社 Jasmina Florist & Landscaping Company

“Kingdom of Unexpected Treasure”
As well as an Islamic country, Brunei is well-known for its oil production. 'Donkey' pumps and other oil production equipments are a common sight around Brunei. Situated at the equator, Brunei, is home to a variety of flora and fauna.



リーニングキョウコ



ダストウグ沙織



下地 葉子



喜瀬 香奈子



宮國 良子



金城 千乃



上天 敦子



城間 翔子



新垣 基子



神山 抄子



親泊 美希子



西原 嶺子



赤嶺 彩子



川満 真紀



村吉 しのぶ



大城 江吏子



中俣 美智子



仲田 るみ子



仲本 盛和



田代 清美



島袋 つや子



島袋 美智子



飯室 宏治



比嘉 のぞみ



百瀬 芽



平安山 チエミ



平良 美香



浅川 モリ子



和田 マリ子



名幸 奨司
蘭爆初



又吉 めぐみ
清流



比嘉 秀夫
溪谷に踊る妖精



飯室 宏治
春うらら



飯室 輝美
薫風



津嘉山 朝秀
華あそび



長嶺 恭子
Passion of the pink



知花 清美
森の向こうに見えたもの



棚原 一樹
枯れ木と蘭



西里 成美
春の風



上原 浩太
蘭宿樹



上間 睦子
春の宴



山田 千夏
春に舞う蝶



栗原 美恵
想い出



金城 智子
琉球花び



金城 恵子
春のおとずれ



磯間 勝
みだれ髪



亀谷 望
小さなやすらぎ



外間 末珠
夢見



花城 洋子
花のカジマヤー



屋我 幸恵
花信風



岡野 哲也
ムールうちなー(俺、うちなー)



翁長 武
ワンフロムザハート 2.14



奥浜 山貴子
うずまき合う仲間達



伊敷 満
溢れ出す生命の泉



島袋 一乃
ビュー



高宮城 実俊
竹林に舞う



比嘉 ゆりか
山頂の癒やし



中部農林高等学校
春の予感



洲鎌 広明
花鳥風月



湊川 モリ子
キジムナー(森の精)



湊川 モリ子
キジムナー(森の精)



仲宗根 実寿
ざわわ



喜友名 正
サンバ



瑞慶山 秀雄
蘭舞



松田 和子
懐かしい古里を歩いて



ダニエルチャタム
Refreshing



飯室 宏治
竹取物語



湊川 モリ子
キジムナー(森の精)



いけばな展

Ikebana Exhibition



草月流 新垣昭陽



草月流 崎浜時子



草月流 比嘉涼蘭



草月流 古堅涼望



草月流 大城涼月



草月流 玉城永涼



草月流 大見玉代



草月流 宮城涼光



草月流 運天涼英



草月流 登川照石



草月流 喜納涼彩



嵯峨御流 仲程静甫



嵯峨御流 大城文甫



嵯峨御流 平良江美甫



嵯峨御流 具志堅節甫



嵯峨御流 比嘉康甫



華道家元池坊 平良禮子



華道家元池坊 小黑美智子



華道家元池坊 玉城繁子



華道家元池坊 宇久信子



華道家元池坊 比嘉ハルヨ



華道家元池坊 喜屋武光子



華道家元池坊 大田エイ子



華道家元池坊 松原紫保



華道家元池坊 北山綾子



櫻花遠州流 仲田利昌



櫻花遠州流 平良利賀



櫻花遠州流 金城智寿



櫻花遠州流 山里利智



専心池坊 花城春静



専心池坊 比嘉秋聲
沖縄国際洋蘭博覧会 2008



専心池坊 金城江柳



専心池坊 棚原綾月



専心池坊 山城咲苑



専心池坊 崎浜和仙



専心池坊 我那覇玲玉



専心池坊 照屋詩月

専心池坊 照屋雅幸

一葉式いけ花 渡名喜香泉

一葉式いけ花 比嘉葉泉

一葉式いけ花 譜久村由泉

龍生派 赤嶺美草



龍生派 阿波連孝草

龍生派 知花宗加

龍生派 仲程房華

龍生派 大城代華

華道草真流 平良覺泉

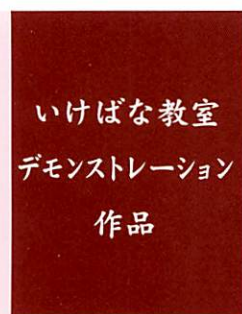
華道草真流 平良覺泡



古流松藤会 町田理千代

古流松藤会 潮平理保

古流松藤会 兼城理千



いけばな教室
デモンストレーション
作品



一葉式いけ花



櫻花遠州流



櫻花遠州流



華道家元池坊



華道家元池坊

華道草真流

古流松藤会

古流松藤会

嵯峨御流

嵯峨御流



専心池坊

専心池坊

草月流

草月流

龍生派

龍生派

オープニングセレモニー・テープカット

Opening Ceremony & Tape cut



沖縄国際洋蘭博覧会審査委員会
 審査委員長 畑 信裕 氏 (日本洋蘭農業協同組合 組合長)
 本部町長
 高良 文雄氏 (代理: 副町長 末吉 哲 氏)
 沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会
 委員長 富田 祐次 氏
 アジア太平洋蘭会議トラスト
 会長 永田 治彦 氏
 タイ国蘭協会
 名誉会長 Dr.Rapee Sagarik (写真左から)



表彰式及び懇親会

Official Commendation





ランの栽培教室

Orchid cultivation workshop



沖縄県蘭協会より3名の専門の講師を迎え、2月9日(土)カトレアの育て方(花城 可保氏)、2月10日(日)コチョウランの育て方(山内 力氏)、2月11日(月)洋ラン入門(安里 弘氏)の3回にわたり栽培教室を実施しました。



花城 可保氏



山内 力氏



安里 弘氏

ランの栽培相談コーナー

Orchid consultation booth



期間中毎日

沖縄県蘭協会の協力によりランに関する栽培相談と共に会場内のガイドツアーを実施しました。

[相談員]

安里 弘	喜納 昌久	仲本 善宣	山川 宗賢
伊佐 英仁	小波津 正雄	花城 可保	与那嶺 勲
伊良波 幸三	島袋 哲行	福地 恒夫	与那覇 誠勝
浦崎 直徳	照屋 清健	町田 繁	饒平名 知育
奥間 政正	徳本 行雄	宮良 祐次	
小禄 茂雄	名嘉 義明	山内 力	

コサージュ教室

Corsage workshop



2月2日～4日

日本フラワーデザイナー協会沖縄県支部の協力により洋蘭が素材のコサージュ教室を実施しました。

[講師]

新垣 美恵	川満 真紀	仲本 盛和	松田 和子
新垣 三枝子	喜瀬 香奈子	西原 嶺子	宮国 良子
浦崎 賀子	金城 スミ子	濱里 登	本部 みさ子
大城 江吏子	金城 理恵	比嘉 満子	与那覇 恒子
翁長 幸子	護得久 智恵	比嘉 千恵美	
翁長 悦子	斉藤 有代	外間 末珠	

いけばな教室

Flower arrangement workshop



2月8日～11日

沖縄県華道連盟9流派の協力によりデモンストレーションを交えたいけばな教室を実施しました。

[櫻花遠州流]

山里 利智
仲田 利昌
岸本 利照

[嵯峨御流]

具志堅 節甫
仲程 静甫

[龍生派]

赤嶺 美草
仲程 房華
知花 宗加

[古流松藤会]

潮平 理保
兼城 理千

[専心池坊]

金城 江柳
花城 春静
棚原 綾月

[一葉式]

比嘉 葉泉
平良 菜奈

[池坊中央橋会]

松原 紫保
宇久 信子
小黑 美智子

[草真流]

平良 覺泡

[草月流]

新垣 昭陽
玉城 泳涼
新垣 時子

ボタニカルアート体験教室

Botanical art workshop



2月9日、10日

講師に石垣島在住の植物画家、橋爪 雅彦画伯を迎え、ランをテーマにした植物画の講習会を実施しました。



橋爪 雅彦画伯
アコウネツタイラン
Tropidia calcarata Ames



オーキッドブライダル 2月3日

Orchid bridal

FM 沖縄「リポーズアフターアワーズ」から選ばれた2組のブライダルを実施しました。



リポーズアフターアワーズの人気DJ、中村一枝さん & 比嘉周作さんのサポートで会場はより感動的な雰囲気になりました。

期間中毎日

オーキッドコンサート

Orchid concert



沖縄県を中心に活躍するフルート奏者の石垣円（まどか）さん、ピアノ奏者の高原愛さん他によるクラシックコンサートを実施しました。

洋蘭プレゼントクイズ

Orchid present quiz



ランに関する5問のクイズに解答していただき、抽選でランの鉢植え、切り花をプレゼントしました。

展示即売会

Orchid shop



博覧会期間中、会場入口に展示販売コーナーを設置しました。

初心者審査

Competition / Beginner class

ラン栽培をはじめてまだ間もない方を対象にした審査部門では、沖縄県蘭協会の審査により3つのランが選ばれました。



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員長賞
名渡山 兼文
ブラッソカトレヤ属



沖縄県蘭協会会長賞
中下 善太郎
パフィオペディルム属



沖縄県蘭協会会長賞
久高 サエ子
ブラッソレリオカトレヤ属



世界の珍しいラン展 ジュエルオーキッド

Jewel orchid exhibition

ジュエルオーキッドとはピロード状の美しい葉をもつランの総称です。これらの葉は光や見る角度により色が変わり繊細で眩い輝きをみせることから、その美しさをジュエル（宝石）に例えたものです。その中には金色や銀色の網目模様など際立った特徴をもつ種類が多く、たくさんの愛好家を魅了してきました。

代表的な属にルディシア（*Ludisia*）、マCODES（*Macodes*）、アネクトキルス（*Anoectochilus*）、グッディエラ（*Goodyera*）、ドッシニア（*Dossinia*）などがあります。

これらの花は、一般的に小さく地味な種類がほとんどですが、葉はジュエルの名にふさわしく美しく光り輝いています。



展示紹介した主なジュエルオーキッド



ルディシア / *Ludisia*
分布 / 東南アジア～中国南部



マCODES / *Macodes*
分布 / マレー半島、ジャワ島、
ニューギニア、フィリピン、沖縄



アネクトキルス / *Anoectochilus*
原産 / 東南アジア～中国南部



ドッシニア / *Dossinia*
分布 / ボルネオ島



グッディエラ / *Goodyera*
分布 / 熱帯アジア、南北アメリカ、
ユーラシア、中国、朝鮮半島、日本

沖縄のジュエルオーキッド



ヤクシマヒメアリドリシラン
Vexillabium yakusimense (yamamoto)
F.Maekawa



コウシュンシュスラン
Anoectochilus koshunensis Hayata



アリサンムヨウラン
Cheirostylis takeoi (Hayata) Schltr.



リュウキュウカイロラン
(アカバシュスラン)
Cheirostylis liukiuensis Masam.



キバナシュスラン
Anoectochilus formosanus Hayata



カゴメラン
Goodyera hachijoensis var. *matsumurana* (Schltr.) Ohwi



ヤクシマアカシュスラン
Hetaeria yakusimensis (Masam.) Masam.

沖縄の野生ランを守る取り組み紹介（世界の珍しいラン展会場にて併設）



沖縄県立中部農林高等学校 園芸科学科（うるま市）「沖縄の野生ランを救え」を合い言葉に2002年から野生ランの保護と増殖活動に取り組んでいる。学生は積極的に野外観察を行い、同時にバイオ技術で増殖したランを提供している。「なくなりつつある沖縄の植物は自分達で守らないといけない」とメッセージを発信している。



沖縄県立北部農林高等学校 園芸工学科（名護市）地元の名護市の地名が由来するナゴランは「レッドデータおきなわ」によると絶滅危惧IA類。沖縄の自然からほとんど姿を消している。同校ではナゴランを種から増やす増殖技術を早くから授業に取り入れており、生徒は授業を通じ、ランが採取するのではなく種から大量に増やせることを身につけていく。



海洋博公園 熱帯・亜熱帯都市緑化植物園（本部町）同植物園ではランの保護を目的の一つとした「ラン類の無菌培養技術研修」を1年間に3回（週1日で2ヵ月）一般公募により実施している。中でも人気のあるのが「家庭でできるランの種まき」。台所用品程度でお手軽に無菌培養が実施できることから、愛好者の注目度も高い。

ランと生活展

Exhibition "Orchid for our life"

観賞用として人気のランは生活に身近な製品として活用されています。

沖縄国際洋蘭博覧会の関連催事として実施された展示会では染め物や香料、クラフトなど多岐にわたるランの用途を紹介しました。



沖縄タイムス連載記事より抜粋



可憐な開花は数時間と短い
バニラの花

世界で最もポピュラーな香料といえばバニラではないか。アイスクリームやチョコレートの香り付けには欠かせず最近では人工的に合成されたバニラエッセンスではなく高価な天然バニラを使う商品に人気が高まっている。

一方、植物としてのバニラを知る人は意外と少なく、熱帯ドリームセンターを訪れて初めてランの仲間であることに驚く人も多い。バニラは中央アメリカ原産のつる植物で花は小さくカトレアに似る。植物自体には甘い香りはなく、開花後半年ほど経過した未熟な果実に「ギューリング」とよばれる独特の作業を加えることで香りがうまれる。

熱帯ドリームセンターのラン温室で栽培しているバニラは今年377輪の花が咲き、70個の果実を収穫してこれまで栽培した中での記録更新を遂げた。そのバニラビーンズをたっぷり使用したオリジナルバニラアイスが近日中に完成する。洋蘭博覧会場で提供するのでぜひご賞味あれ。(下地俊充)



カトレアの花で染めた布

ランの花で染め物と聞き、思い浮かぶ方は少ないのでは。天然素材を用いた草木染めには、アイ、ウコン、ペニバナなど多くの種類の植物材料が使われ、花、葉、根、皮、果実などが原料となる。その中で「ランの花びら」を用いた染め物というのは、あまり知られていない。

ランの魅力の一つに「色」がある。「花の女王」とよばれるカトレアは高貴で、優しき色合いが特徴だ。

ラン染めの工程は、特殊な液剤で花びらから色を抽出し、しっかりと生地に染める。すすぎ洗った後、媒染液を用いて色を定着させ、乾燥すると見事に染め上がる。特に、ラベンダー色や赤紫色のカトレアを用いると優しい風合いに染まる。さらに、生地の素材や、染め液の濃さ、媒染液の種類により、色合いや質感は様々である。

沖縄国際洋蘭博覧会では、展示を終えたカトレアの花びららを利用して、地元の染物工房の協力を得て、のれん、ティッシュクロス、ハンカチ、ブックカバー、スカーフなどラン色に染まったバラエティーあふれる品々を展示紹介する。(阿部篤志)



ランの繊維で織った布
軽さと透明感が魅力

人々は、植物から得られる繊維を利用して紙や布などを作り、生活の中に取り入れてきた。沖縄には、約30年前から切り花用として栽培されているデンドロビウム(デンファレ)の茎の繊維を使った繊維がある。

デンファレは切り花として数回利用すると、多肉の棒状に長く伸びるバルブ茎を生じ更新される。切り花生産の最盛期当時、この多量に発生する茎を再利用できないかものかと、研究されたのが布作りである。

長い茎には基部から先まで多くの筋があり、長い繊維を取ることでできる。「蘭からふ」工芸品協同組合では、茎から繊維を取り出し一本一本紡いで世界でも珍しいラン繊維を生み出した。「蘭からふ」の名前は、蘭「らん」から生まれた布「ふ」という意味で名付けられた。

繊維は茎から一本一本手作業で取り出す。表皮も繊維の模様として利用する。茎の内部で外側から内側にかけて変化する繊維の色合いを生かして織りまぜることに、素朴で上品な繊維になる。「蘭からふ」はその風合いの良さ、軽さや透明感が他の布にはない魅力となっている。(仲松辰弥)



ランの塊根から作られたトルコの伝統菓子ドンドルマ

アイスنان(アイスのように伸び、モチモチとした食感が人気のトルコの伝統的な菓子、ドンドルマ。伸びる秘密はサーレップという白色粉末で、これはランの塊根を乾燥・粉砕して作られたものだ。

サーレップとして利用されるランは、地中海周辺のヨーロッパとアフガニスタンに分布するラン科オルキス属で約33種ある。「オルキス」という属名はギリシャ語で「隼丸」を意味し、これは地中部に2つの塊根をもつことに由来する。オルキス属は日当たりの良い草原に生え、大きさは5〜80センチ、花は小型で紅紫色、淡黄色、白色などがあり、茎の先端に密生している。

この属で最も大きくなるのがオルキスフルブレアで、桃色で縁取られた白色の花弁に紅紫色の斑点が入った花が、まるでドレスを着た中世英国の貴婦人が手を広げているように見えることから、「婦人ラン(レディー・オーキッド)」の愛称を持つ。

沖縄国際洋蘭博覧会の期間中、熱帯ドリームセンターではドンドルマの原料サーレップを展示している。練れば練るほど粘りがでるというドンドルマを本場トルコの職人が実演する。(長田尚子)



滋養強壮など薬用となるデン
ドロビウム

朝鮮人参とならび古くから滋養強壮、健胃薬に使われてきたのはデンドロビウム属の一種、モリニフォルム。和名のセッコク(石斛)は中国において石のように硬く太い茎を水がめ「斛(こく)」に例えられたところからきている。

同種は中国、朝鮮半島のほか、日本では中部から九州にかけて広く分布する。茎は束状に多く出て樹木や岩上に着生する。花は白色に赤みを帯びた3センチ程度で茎の先にまとまって咲く。花の美しさや葉の色変わりなど観賞用として親しまれ、江戸時代から園芸植物として長生蘭(ちようせいらん)の名前で盛んに栽培されてきた。

薬用とされるのは蕾を含む茎、葉の部分で、これを日干し、あるいは湯通しした後に乾燥させたものを煎じて飲む。薬効成分のみを抽出、精製したのではなく、いわゆる薬草として、あるいは漢方医学に基づき処方により他の天然素材と配合された漢方薬として利用されてきた。薬用となるランの種類はこの他にもデンドロビウム属の数種類、シラン、サイハイランなどが知られている。(仲間敏剛)

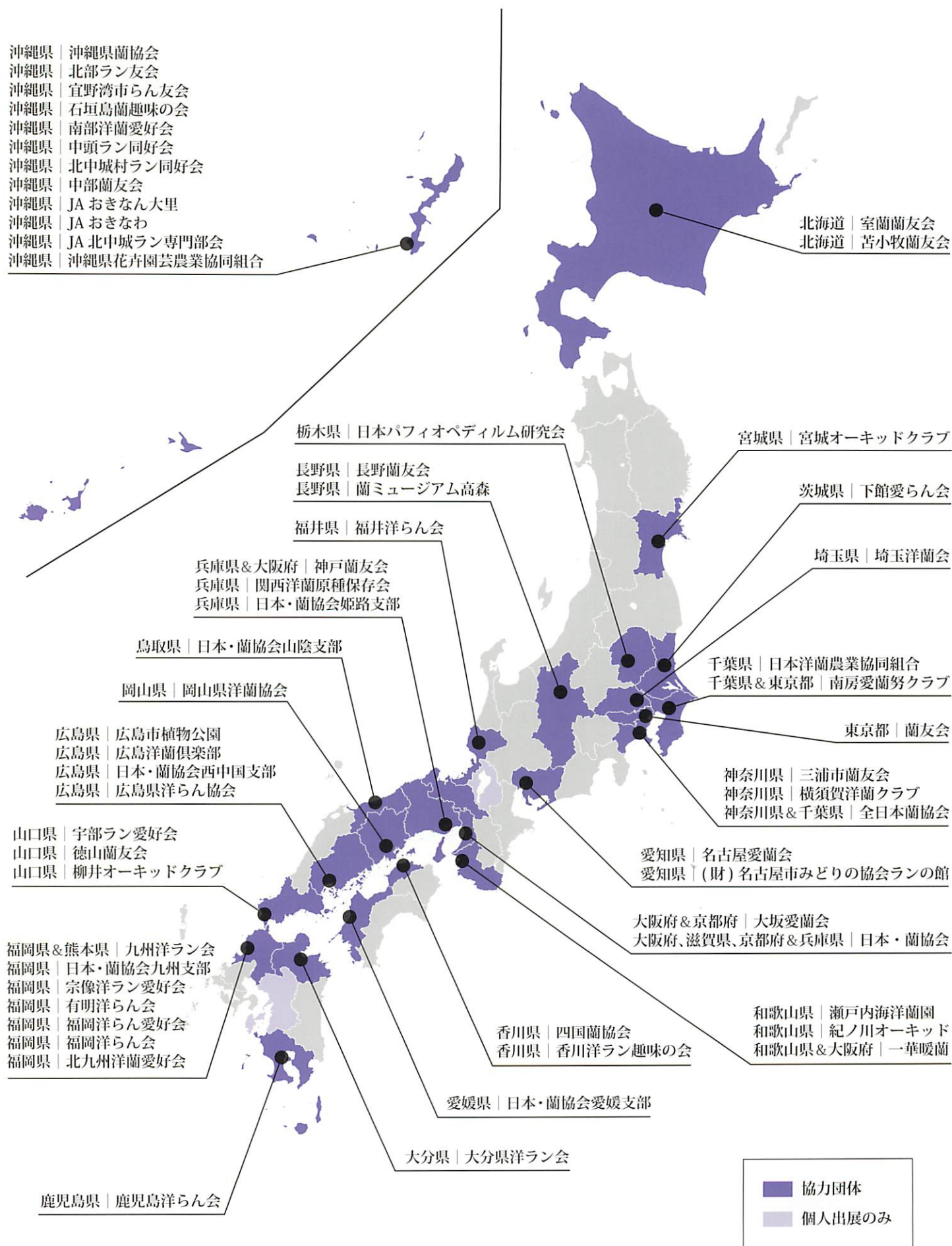
「香料」バニラ 未熟果実に香りの源

「染物」カトレア 高貴で優しい色合い

「織物」蘭からふ 長い茎の繊維紡ぐ

ドンドルマ 餅のような食感人気

古の薬草 茎・葉せんじて滋養に



鉢物出展審査

Potted Plant Category

切花出展審査

Cut Flower Category

北海道	東てい子	新井 郁子	浜口 羊子	寺岡 育男	緒方 正之	照屋 清健	松田 明美
	山間 克彦	栗野 原 調	宮崎 敏章	小林 幹弥	新保 昌代	森松 孝助	大城 善代
宮城県	岸野 哲也	綿貫 芳文	谷田 真也	福山 園芸	金久保 貞一	仲本 善宜	大屋 比呂
	山田 晴次	山上 宏	金田 奉文	楠 博之	大田 幸吉	町田 繁	新里 昌直
茨城県	川村 功	蘭ミュージアム・高森	横井 重子	山口県	大田 幸吉	長徳 清行	宮城 友保
	鈴木 陽子	中川 久雄	和歌山	高橋 茂美	徳本 安山	平城 良勝	新垣 壮子
栃木県	和野 洋	矢沢 律子	和歌山	瀬戸内 妙子	新垣 勝三	平城 良勝	宮城 友保
	鈴木 修司	松澤 芳美	和歌山	小坂 征夫	伊佐 喜納	宮城 良勝	新垣 壮子
埼玉県	堀 あさ子	小澤 重信	和歌山	樋口 茂	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	藤田 セツ子	中川 美千子	和歌山	生地 英明	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
千葉県	篠崎 きぬ江	岡田 浩和	和歌山	吉川 俊恵	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	大月 いち	(助名) 市みどりの協会ランの館	和歌山	紀ノ川 オーキッド	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	亀井 隆	飯田 秀孝	和歌山	梅田 幹子	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	増玉 悦男	近藤 安親	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	野口 悦男	滋賀県	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	千葉県	久保田 貞雄	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	古山 勝己	竹島 彌二	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	(株) 大場 蘭園	繁田 こと美	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	田辺 茂	吉川 慶太	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	白井 茂	澤井 公和	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	寺田 昭廣	岡田 重子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	黒澤 敏行	岡田 満則	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	三好 勝彦	大坂 寛治	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	大場 オーキッド	松尾 隆一	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	峯田 美智子	中村 正人	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	鈴木 昭彦	橋本 淳司	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
東京都	清水 龍太郎	松尾 幸代	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	北崎 雅子	田中 昭子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	石川 晴夫	青木 茂	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	重田 裕充	藤井 庄蔵	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	稲嶺 盛昭	坂本 重機	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	大津 豊隆	坂本 健司	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	中島 文子	坂本 末子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	永井 清	原 美穂子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	(株) 相模 蘭園	兵庫県	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	金澤 均	橋本 利太	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	重田 悦子	藤井 秀明	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	石井 春枝	豊田 和則	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	内藤 実	守本 日吉	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	川本 広	北瀬 哲子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	高橋 眞澄	牧田 夏雄	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	岸 美枝子	濱口 浩	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	稲嶺 希武	原田 英美	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	佐藤 奈加子	守本 佳子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	福井県	岡田 邦雄	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	伊藤 香治	村田 孝男	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
神奈川県	上本 武雄	西村 栄子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	長野県	内田 瞭子	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
長野県	青木 高広	中尻 利弘	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
	唐澤 耕司	永井 勝	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
長野県	牧 久雄	松田 隆一	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
		足立 剛	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
長野県		中谷 弘幸	和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子
			和歌山	鳥取県	宮城 裕次	宮城 良勝	新垣 壮子

外国出展審査	Foreign Category	外国出展審査	Foreign Category
	インドネシア		Bangkok Flowers Center Co.,Ltd
外国出展審査	Mr. Henry Eksan		Padung Lekchinda
	シンガポール		Dhana A-Ramdee
外国出展審査	Mr. Ian Chung		Mrs. Kamonthip Techachareonsukchila
	タイ		フィリピン
外国出展審査	Orchimex (omnoi) Co.,Ltd.		Mrs. Rolita Spowart
	Mr. Prakong Pimsamarn		マレーシア
外国出展審査	Mr. Pairat Techachareonsukchila		Mr. Wong Kiang HO
	Miss. Suwannee Techachareonsukchila		Mr. Cheah Wah Sang
外国出展審査	Miss. Jatharat Techachareonsukchila		Mr. Lee Chee Onn

ディスプレイ審査	Display Category	ディスプレイ審査	Display Category
	沖縄県		台湾
ディスプレイ審査	沖縄全日空リゾート(株)万座ビーチホテル		Taiwan Orchid Grower Association
	沖縄熱帯植物管理(株)		Goodwill Orchids (好生蘭園)
ディスプレイ審査	金秀グリーン開発株式会社		タイ
	(株)沖縄庭芸		Commercial Orchid Growers Association
ディスプレイ審査	北部造園土木(株)		of Malaysia (COGAM)
	本部造園(株)		マレーシア
ディスプレイ審査	(有)仲本造園土木		Orient Orchids Network West Malaysia
	(有)巴忠造園土木		Chah Wah Sang Orchid Farm West Malaysia
ディスプレイ審査			

フラワーデザイン審査	Flower Design Category	フラワーデザイン審査	Flower Design Category
	愛媛県		Ms.LEANING KYOKO
フラワーデザイン審査	平山 博愛		城間 翔子
	沖縄県		Ms.Danielle chatham
フラワーデザイン審査	大城 利重子		栗原 美恵
	儀保 美佐子		津嘉山 朝秀
フラワーデザイン審査	又吉 淳		知花 清美
	湊川 モリ子		金城 恵子
フラワーデザイン審査	上間 睦子		翁長 武勝
	金城 新治		儀間 敦子
フラワーデザイン審査	高宮 実俊		上天 みどり
	阿波根 昌一		
フラワーデザイン審査			

協 賛 (賞品提供)

日本・蘭協会
全日本蘭協会
日本洋蘭農業協同組合
蘭友会
沖縄県蘭協会
沖縄県農業協同組合
沖縄県花卉園芸農業協同組合
(社) 沖縄県造園建設業協会
(社) 日本フラワーデザイナー協会
(社) 日本生花通信配達協会(JFTD)
(社) ランドスケープコンサルタンツ協会
(社) 日本造園建設業協会
沖縄県緑化種苗協同組合
全日本空輸(株)
(有) らんの里 沖縄
株式会社 日本航空
CHINA AIRLINES 沖縄支店
北部らん友会
北中城村ラン同好会
横須賀洋蘭クラブ
長野蘭友会
徳山蘭友会
三浦市蘭友会

協 賛 金

沖縄電力(株)
琉球セメント(株)
オリオンビール(株)
沖縄明治乳業(株)
沖縄ボトラーズ(株)
沖縄コカ・コーラボトリング(株)
(株) 琉球銀行
(株) 沖縄銀行
(株) 沖縄海邦銀行
(株) 沖縄環境開発センター
沖縄熱帯植物管理(株)
(株) 本部造園
(有) 仲本造園
(資) 本部清掃 (順不同)

記念品 Souvenirs

【入賞記念品】

前田 孝允 漆芸作家

Mr. Koin Maeda 沖縄県指定無形文化財「琉球漆器」技能保持者



琉球漆器

琉球漆器は、14世紀の後半、中国との交流が盛んになった時代に確立されたと考えられています。その後日本等の影響を受けながら発展し、15～16世紀頃には中国や東南アジア、日本等に輸出され重要な交易品となりました。

琉球漆器には沈金や螺鈿、箔絵、堆錦等多様な技法があり、その表現力や美しさ、丈夫さで高く評価されています。今回の入賞記念品は、箔絵・漆絵の技法を用いてカトレアを表現しました。



最優秀賞

優秀賞

優良賞

【出展記念品】

知念 績元 知念びんがた工房 代表者

Mr. Sekigen Chinen

沖縄県指定無形文化財「びん型」技能保持者 経済産業大臣認定「琉球びん型」伝統工芸士



琉球びんがた

びんがたは、古くは琉球王朝時代に婦人の礼装、神事の服装などとして摺り込みの手法で染められたことがその起源であると言われています。その後14～15世紀に東南アジア各国との交流の中で染色の技術を学びとり、現代までその技法が伝えられたものです。図柄は、絵画のように立体的な図案の構成の中に四季の風物を融合させたものです。びんがたは、沖縄の長い歴史と風土にはぐくまれた世界に誇る染物です。

尚、今回制作しました記念品は、第21回沖縄国際洋蘭博覧会大賞(内閣総理大臣賞)を受賞したRhy.giganteaを沖縄伝統工芸品であるびんがたでデザインしたものです。





やすらぎの空へ、
心をこめて。

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER 

国内線のご予約、お問い合わせは、☎0120-029-222
国際線のご予約、お問い合わせは、☎0120-029-333
または、お近くのANA指定旅行会社まで。
ANA ホームページ www.ana.co.jp

郷土の資源で



郷土をつくる

琉球セメント株式会社

Orion

南国物語

オリオンの糖質オフ。

[発泡酒]

糖質
50%
オフ



飲酒は20歳になってから。
飲酒運転は法律で禁止されています。



地域とともに、地域のために



沖縄電力

浦添市牧港五丁目2番1号 〒901-2602

TEL(098)877-2341(代表)

MEIJI

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 浦添市牧港1-65-1 TEL098-877-5274

Coca-Cola

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社
OKINAWA COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. <コカ・コーラ指定会社>



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

〒905-0206 沖縄県本部町石川 424 番地